



ウミガメ上陸に備え
海岸を清掃

■5月20日、白沢地区の海岸清掃作業が行われ、地元住民やボランティア約60名がウミガメが上陸する際に障害となるゴミなどを取り除きました。昨年は28頭が上陸し、2頭の産卵が確認されています。



まぐらざき探検隊企画
「青葉かおる木浦散歩」

■5月21日、木浦地区でまぐらざき探検隊企画「青葉かおる木浦散歩」が開催されました。爽やかな木漏れ日のもと、本市指定史跡の樟脳工場跡や、新生橋、木浦橋などを散策しました。



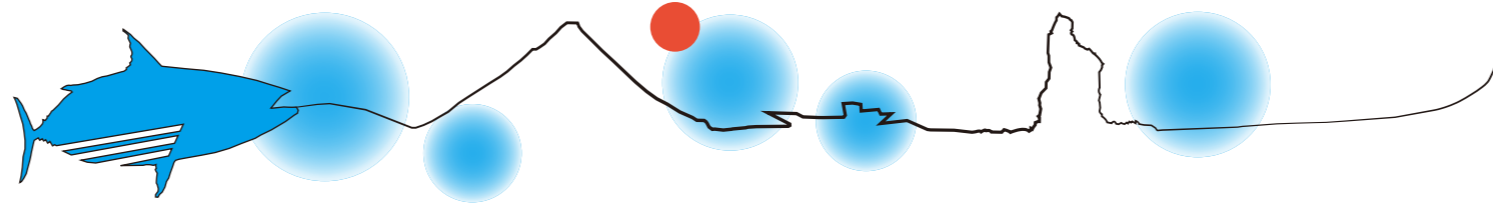
水源地等の
清掃作業を実施

■6月1日から7日は水道週間でした。1日には水の大切さを再確認し、河川や森林の環境を守る取り組みとして、水道工事業協会と水道課が深浦水源地の清掃作業を行いました。



第16回枕崎ぶえん鯉
スタンプリリー抽選会

■6月15日、水産センターで行われました。今年は全国から1,195通の応募があり、当選者には枕崎産豚肉や枕崎ぶえん鯉詰め合わせセットなどの豪華賞品が贈られました。



糸州会の小学生3名が九州・全国の舞台へ ～県大会の結果報告と意気込みを胸に市長に表敬訪問

5月31日、糸州会枕崎空手スポーツ少年団の選手および指導者が市長を訪問し、4月23日に開催された第57回鹿児島県空手選手権大会(形個人戦)での入賞報告と、全国大会および九州大会へ向けての意気込みを語り、気迫溢れる形を披露してくれました。

小学2年男子で準優勝した松田風未さん(写真中央)は全国大会および九州大会に、小学3年男子で4位となった松野下湧さん(写真右)、小学5年男子で4位となった松田廉生さん(写真左)は九州大会への出場が決定しています。3人は「全国、九州大会での優勝を目指し、練習を頑張りたいです」と話しました。



災害に備え市社協とJCが強力タッグ ～災害時相互協力協定を締結

5月24日、福祉会館において、枕崎市社会福祉協議会と枕崎青年会議所(JC)との「災害時相互協力協定書」調印式が行われました。

この協定は、災害発生時にボランティアセンターの開設を担う社会福祉協議会に対して、さまざまなボランティア活動を行ってきた青年会議所のネットワークやノウハウを活かし、その活動を効果的に進めていくための相互協力協定となります。枕崎青年会議所理事長の谷上宗土郎さんは「これまでの災害ボランティア活動の際、枕崎が被災した時にどんなことができるか考えてきましたが、今回の協定でお手伝いできることをうれしく思います」と話しました。



花の育成を通して「人権の花」を咲かせよう ～立神小学校と別府小学校に人権の花を贈呈

5月29日に立神小学校、6月2日に別府小学校で「人権の花」贈呈式が行われ、地元人権擁護委員からヒマワリの種子や、人権イメージキャラクターの人KENまもる君・人KENあゆみちゃん人形などが贈られました。

この運動は、配布された花の種子や苗を、児童が協力しながら育成することを通して、協力、感謝することの大切さを学ぶとともに、豊かな情操とやさしい思いやりの心を育て、人権尊重の思想をはぐくむことを目的としています。

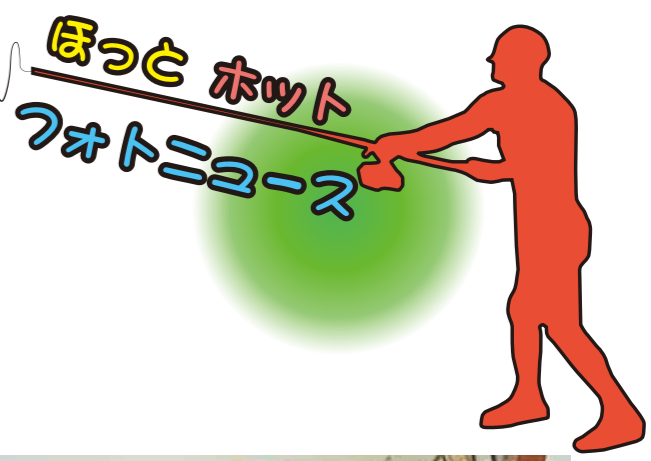


4年ぶりのおはらで大いに盛り上がり ～投稿者：関東枕崎会 小島芳郎さん

「第26回渋谷・鹿児島おはら祭」が5月28日、東京・渋谷で開催され、渋谷のメインストリートを54団体2,000余名の鹿児島県人が埋め尽くしました。

新型コロナウイルスの影響で、4年ぶりの参加となった関東枕崎会踊り連には、枕崎から上京した9名を含めた33名が参加しました。新緑の萌える道玄坂を元気よくパレードし、沿道から多くの枕崎出身の友人達から声援をいただきました。踊りの掛け声も「渋谷おはら」からいつの間にか「まぐらざき かつお節」に代わって大いに枕崎をアピールし、全員が最後まで楽しく踊りきりました。そして打ち上げでは枕崎の人と語り合い枕崎と関東の距離をグッと縮め大変盛り上がりました。

来年も、さらに多くの方と楽しく踊れることを心待ちにしています。



とったどー！ご当地カルタに児童熱中 ～「金山いろはカルタ」で学ぶ金山地区の歴史や情景

5月19日、桜山小学校春の1日遠足で同校の4年生24名が金山センターを訪れ、金山地区の高齢者と「金山いろはカルタ」でふれあい交流を行いました。

金山いろはカルタは、金山地区の歴史や情景を48枚の「いろは歌」にして後世に継承しようと製作されたものです。読み札が読まれると、我先にと取り合った児童たちは、帰るころには下の句を暗記してしまうほど熱中して楽しんでいました。



国体開催に向けダンスで交流 ～マスゲーム講習会で「ゆめ～KIBAIYANSE～ダンス」

6月20日、総合体育館においてマスゲーム講習会が開催され、スポーツ推進委員やPTAの関係者38名がダンスで汗を流しました。

マスゲーム講習会は、お互いのコミュニケーションを図りながら地域のスポーツ・レクリエーション活動を推進することを目的としており、今回は、今年10月に迫った燃ゆる感動がごしま国体のイメージソング「ゆめ～KIBAIYANSE～」に合わせたダンスで大会開催の気運醸成を図りました。